

宇美町の魅力を再発見!!

～ふみの里をめぐる宇美ゆっくりウォーキング開催～

3月30日(土)に、ふみの里をめぐる宇美ゆっくりウォーキングが開催されました。当日は、天候にも恵まれ、絶好のウォーキング日和の中、約50名の参加者が、宇美八幡宮→宇美公園→光正寺古墳→小林酒造本店という往復約3.5kmのウォーキングルートを、3時間半かけて歩きました。今年は桜の開花が早かったため、ちょうど桜が満開の時期になり、はらはらと花びらの舞う桜のトンネルに、参加者は見とれて感嘆の声を上げていました。



温かな日差しの中、桜を見ながらウォーキングを楽しみました

また、宇美八幡宮や光正寺古墳等では、町の学芸員による説明を受けながら歩き、改めて町の文化財についての魅力に触れ、知識を深めました。



学芸員からの説明に熱心に耳を傾ける参加者

災害時に助けが必要な方を無事に避難させるために!!  
～原田下区で避難訓練実施～

3月13日(水)に、原田下区で避難訓練が実施されました。原田下区は、災害が起きた時に一人で避難することが難しい災害時要援護者を、どのようにして避難させるかということについて、下宇美区、宇美東区とともに「災害時要援護者避難支援計画策定促進事業」という研修会を受け、支援者を決めたり、連絡網を作成したりと区独自で取り組んでおられます。今回の避難訓練はいきいきサロンの時間を利用して、災害時に要援護者となりうる高齢者の方や、小さな子どもがいる主婦の方に向けて行われ、避難所となる公民館と中学校にどの様なルートで、どれくらいの時間で避難できるのかということを確認しました。



地域の方々と声を掛け合いながら、落ち着いて避難されました

避難訓練後には反省会が開かれ、避難者の名前をどこで確認するのか等、受け入れの方法について意見が出るなど、区全体の防災意識が高まりました。

町の適正な会計事務遂行への貢献が期待されます!!

～平島忠雄さんが代表監査委員に就任しました～

永江英一監査委員が任期満了に伴い退任したことを受け、後任に平島忠雄さんが平成25年3月22日(金)宇美町代表監査委員に就任しました。

平島監査委員は、民間企業に勤務した後、宇美町立中央公民館館長を8年間勤められました。民間企業と行政との経験を、これからも宇美町での適正な会計事務遂行に生かすことが期待されます。



監査委員に就任した平島忠雄さん

「あいさつ声かけ運動」  
街頭啓発を実施しました

宇美町青少年育成町民会議\*

3月6日(水)早朝7時10分からJR宇美駅前広場において、宇美町青少年育成町民会議の主催により、「あいさつ声かけ運動」の広がりを目指し、出勤・通学等で宇美駅を利用する方々へ街頭啓発が行われました。

当日は、青少年健全育成に関わる団体から多くの参加がありました。足早にJRに向かう町民の方々の中にも、「おはようございます!」「ご苦労さまです!」などの反応があり、「あいさつ声かけ運動」の広がりを感じることができました。



多くの方に声かけを行いました



さわやかなあいさつ心がけました

※宇美町青少年育成町民会議とは

青少年問題のもつ重要性を考え、広く町民の総意を集め、国、県及び町の施策を生かして、青少年の健全な育成及び非行防止を図ることを目的とし、宇美町の青少年育成に関係のある機関、団体をもって組織されています。

振り込め詐欺などの犯罪や事故から見守る側の安全を守るために!!  
～みるみるウォーク研修会開催～

3月16日(土)、地域交流センター多目的ホールにおいて、みるみるウォーク研修会が行われました。この研修会は、みるみるウォーク会員の方を対象に防犯意識を高めるとともに、事件や事故にあわないよう喚起することを目的として、年に1回開催されています。みるみるウォークとは、散歩や買い物等で町内を歩く際に子どもたちの見守りを行っていただくもので、現在約200名の方が会員登録をされています。今回は、粕屋警察署の生活安全課の方に講演をしていただき、防犯に関するDVDを放映しました。



講演をくださった粕屋警察署の島崎さん



日頃の感謝を込めて、子どもたちも精一杯歌いました

また、第2部として昨年10月に結成された「音楽企画ボランティアUMIプロジェクト」による演奏会が行われました。「上を向いて歩こう」等の名曲の演奏や、子ども達の元気な歌声に会場からは大きな拍手が送られました。

恒久の平和を願いました

～戦没者合同慰霊祭開催～

4月3日(水)、宇美公園において、宇美町戦没者合同慰霊祭が行われました。晴天に恵まれ、桜の花びらの舞う中、遺族の方や町の関係者が参列しました。

式典では、安川町長が「私たちが今、当たり前のように享受している平和と繁栄、そして、水と緑にあふれた、自然豊かな宇美のこの美しい光景が、戦争によって心ならずも命を落とされた戦没者四百二十三柱の犠牲の上に築かれていることを決して忘れてはなりません」とあいさつをされました。その他にも、遺族代表の方や町議会の白水議長があいさつをされ、犠牲者の冥福を祈るとともに、日本を取り巻く世界情勢に触れ、悲惨な戦争を忘れることなく世界中が恒久に平和であることを願いました。



慰霊碑に向かって、犠牲者の冥福を祈る参列者